

みんなで考えよう
平和と人権



市民センター本館・玄関横に設置されている
「優愛の鐘」（寄贈：芦屋市婦人会）

～「平和への祈りと願い」を込めて～

平和の鐘を鳴らそう！

★参加費・申し込みは不要です。ご自由にご参加ください。

◆とき 2022年 8月 15日(月)

<式典> 11時45分～12時15分

<平和のつどい> 12時30分～13時30分

◆ところ 芦屋市民センター (業平町8-24)

<式典> 本館玄関前・優愛の鐘

<平和のつどい> 市民センター401室

※今年は、つどいに参加された皆様(50名)に、
おにぎり・お茶をお持ち帰りいただきます。

式典・平和のつどい

平和の鐘を鳴らしましょう！

戦後77年目の夏、また激戦地となった沖縄の本土復帰から50年目の夏を迎えます。戦争の惨禍を二度と繰り返さず、平和への貢献を提唱して誕生したのが「ユネスコ」です。ユネスコ憲章の前文に、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」との言葉があります。

願い続け、語り継いでいかなければ、もろくも崩れ去ってしまうかもしれない「平和」。今年も8月15日(月)午前11時45分、芦屋市民センター本館の玄関前にご集合ください。みんなで「平和宣言」を唱和し、正午のサイレンに合わせて黙祷いたしましょう。そして、一人ひとりが「平和への祈りと願い」を込め、平和の鐘(優愛の鐘)を高らかに鳴らしましょう！

そして今夏の「平和のつどい」では、自らの戦争体験を絵本「ムツとわたし」に託された大和田啓子さんを囲み、「平和への願い」も新たに、ともに平和の大切さを次世代へと語り継いでまいりましょう！



つないでいきましょう！ 平和への思い

問い合わせ 芦屋ユネスコ協会事務局(芦屋市教育委員会 生涯学習課内) ☎ 0797-38-2091

◆主催：芦屋ユネスコ協会

◆共催：芦屋市・芦屋市教育委員会



平和の鐘を鳴らす運動

わたしの平和宣言



私は人類の未来、特に子どもたちの未来に対して責任があると思うからこそ、日々の生活の中で、家族と共にいる時、職場で働いている時、次のことを誓います。

1. 「すべての命を大切にします」

差別や偏見を持たないで、一人ひとりの生命と人権を尊重します。

2. 「どんな暴力も許しません」

積極的に非暴力を支持します。特に弱い立場にある幼児や青少年に向けられた身体への暴力、性的虐待、精神的苦痛などのあらゆる暴力を許しません。

3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」

社会的差別、不正、政治的・経済的抑圧をなくすために、思いやり、助け合う心で、奉仕活動を行います。

4. 「相手の立場に立って考えます」

狂信に陥ったり、他人を中傷したり拒絶したりしないで、いつも話し合いを優先させ、人の話を理解しようと努めることによって、表現の自由と文化の多様性を守ります。

5. 「かけがえのない地球環境を守ります」

生態系のバランスを保ち、すべての生命を尊重するよう行動し、自分の行動に責任を持つ消費者としての態度を心がけます。

6. 「みんなで力を合わせます」

男女が共に力を合わせ、民主的なやり方でいろいろな新しいことに取り組み、自分の暮らす地域のことに関心を持ち、よりよい地域づくりのために、いま、ここで、できることから始めます。

<(社)日本ユネスコ協会連盟 訳>

※ 「わたしの平和宣言」〈MANIFESTO2000〉はノーベル平和賞受賞者たちの起草した誓いです。

芦屋ユネスコ協会